

11月13日付  
全私学新聞

# 新入生から個人所有ロッカー FUJIPLA(フジプラ) 正智深谷高等学校が来春導入



成田教諭

学校の特色作りにおいて、生徒の学習環境の充実、設備面からのサポートは欠かせない要素だ。教科書、体操着、シューズなど、生徒が学校生活で使うさまざまな物の管理もそのひとつ。この点に着目して、生徒個人が所有するロッカーの導入を決めたのが、正智深谷高等学校(埼玉県深谷市、佐分利正彦校長)だ。来年度の入学生から、生徒が入学時に個人用ロッカーを購入、三年

間使用する。同校では現在、扉のない開放型のロッカーが教室に設置されている。しかし、扉がないことが美観の点からネックになっていた。加えて、同校はJR深谷駅から生徒の通学に利便性がある。導入したのが、ロッカーの販売会社「(株)フジ」(本社・東京都荒川区)が販売するプラスチックロッカー「FUJIPLA」だ。成田教諭は、実際サ

## 耐久性、軽さ、簡単修理など長所

## 自己管理の習慣に期待

減、美観などの観点から「軽い」「見た目が良い」「修理が簡単」という要素を挙げる。生徒が三年間使うことになり、美観の点からネックになっていた。加えて、同校はJR深谷駅から学校でよく見られるスラッシュや叩いたりと耐久性、軽さ、簡単修理など長所。自己管理の習慣に期待。成田教諭は、複数の候補の中からフジプラを導入する理由として、「耐久運べる軽さも魅力だ。組

み合わせ方によって、教室内に扱う気持ちが育つし、廊下など設置場所も私物を自分で管理すると柔軟に選べる。また、扉の色が五色から選べ、慣づけることができる。と教育面の効果にも期待している。バスケットボールなどスポーツ面での活躍の一方、進学校として着実に実績を挙げている同校は、県内で初めてコムサ・デ・モードの制服を導入するなど、ソフト面の先進性にも富んでいる。成田教諭は「私学である以上、公立とは違う設備などソフト面からの生徒へのサポートも重要」と話している。